

窯業系サイディングについて

I.製品説明 II.メンテナンスについて III.リフォームについて

窯業系サイディングは1968年発売以来、「耐久性」「防火性」「耐震性」に優れた、安全で高級感のある外壁材で日本国内のみならず海外でもその採用が拡大しております。

窯業系サイディングは優れた性能・品質を有しておりますが、いつまでも不変のものではありません。

長時間美しい外観と性能が維持される様、パンフレットに記載しております内容をよくご理解の上で、必ず点検とメンテナンスを実施して頂きますようお願い致します。

不具合発生時には、住宅会社様にご相談頂きますようお願い致します。



I. 製品説明

1) 製品概要

窯業系サイディングは日本産業規格(JIS A 5422)に規定されています。セメント質原料、繊維質原料および混和材からなる混合原料を成型、養生・硬化した、防火性能に優れ、強くてしなやかで丈夫な板状の外壁材です。

2) 種類

- ① 厚さ 14mmから26mmまでさまざまなものがあります。
- ② 長さ 3,030mmまたは1,820mmが主流となっています。
- ③ 幅 455mm, 910mm, 1,000mmが主流となっています。
- ④ 表面塗装 アクリル系から、シリコン系、フッ素系、無機系塗料などを工場で塗装したもの及び現場で塗装するための無塗装のものがあります。

3) 用途

主に建築物の外壁材

新築戸建て住宅の外壁として75%以上に使用されており、店舗・倉庫・オフィスなどの中層非住宅にも多く使用されています。

4) 性能

① 耐久性

日本産業規格(JIS A 5422)にある製品性能基準値を満たしており、住宅の外装材として耐久性に優れ、外部からの衝撃にも強く家を守ります。

② 防火性

窯業系サイディングは、不燃又は準不燃材料であり、外壁の防火構造・45分準耐火構造・1時間準耐火構造の国土交通大臣認定を取得しており、火災に対する安全性に優れています。

③ 耐震性

窯業系サイディングは、大規模地震被災地の被害調査でも、剥離・脱落がほとんど見られず、地震に強いことが確認されています。

④ 防水性

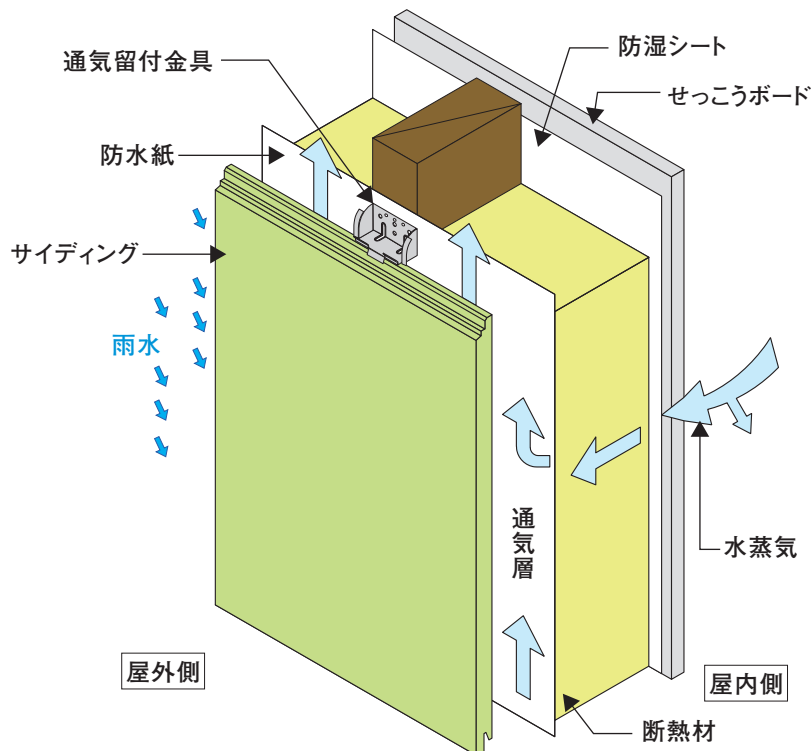
窯業系サイディングそのものの防水機能と、通気構法による防水機能(通気構法による空間と防水紙等による)により、屋内側への雨水の浸入を二重に防ぎます。

⑤ 耐風圧性

耐風圧性能は建築基準法により規定されています。住宅の外装としては、規定されている設計風圧力に対し、外装材が破損・破壊しないものとしします。

5) 外壁通気構法

外壁通気構法と浸入した雨水、湿気等の水分排出の仕組み



住宅の外壁性能は、外壁材(窯業系サイディング)だけでなく、外壁の構造として初めて性能を発揮します。

現在一般的な外壁材は、住宅の耐久性向上の為に通気構法による施工となっています。(住宅会社により異なりますので、詳細はお尋ね下さい)

*木造の住宅は壁の中に雨水や湿気などの水分が滞留すると柱、土台などの木材を腐朽させたり、しろありの被害を促進させることになり、耐久性に影響をおよぼします。住宅を長持ちさせるにはこれらの湿気を外部に排出させる通気構法の採用が不可欠となりますが、窯業系サイディングは通気構法を標準工法としています。

留付金具や同質出隅は各メーカーの純正品により、外壁材の品質性能の確認をしております。

6) 純正品の例

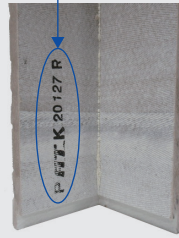
会員各社の純正同質出隅、および純正留付金具は下記の通りです。

旭トステム外装株式会社

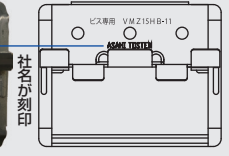
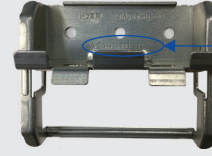
出隅



裏面に製造ロット等が記載



留付金具



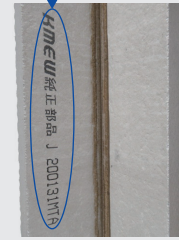
社名が刻印

ケイミュー株式会社

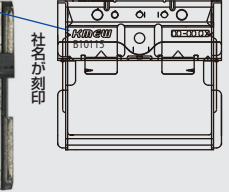
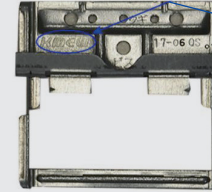
出隅



裏面に製造ロット等が記載



留付金具



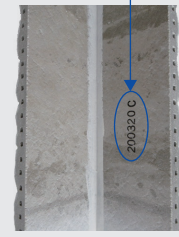
社名が刻印

神島化学工業株式会社

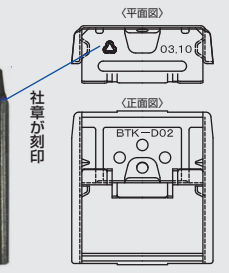
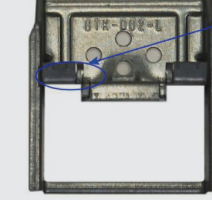
出隅



裏面に製造ロット等が記載



留付金具



社名が刻印

東レ建材株式会社

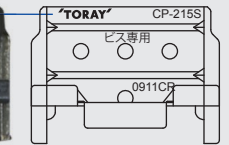
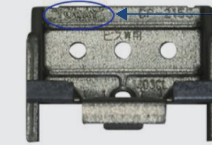
出隅



裏面に製造ロット等が記載



留付金具



社名が刻印

ニチハ株式会社

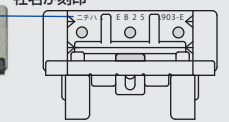
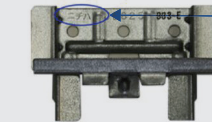
出隅



裏面に製造ロット等が記載



留付金具



社名が刻印

II. メンテナンスについて

1) 美観と性能を保つためにはメンテナンスを行うことが重要

建物の外壁は太陽光(紫外線)、風雨、雪、気温の変化等、過酷な条件下にさらされています。サイディングは、その表面に耐候性のある塗装が施され、サイディング間には防水用のシーリング材が施工され建物を保護していますが、サイディング表面の塗装及び接合部のシーリング材は永久的なものではありません。そのため、年数を重ねると様々な経年劣化が進み、そのまま放置しておくとな具合につながる可能性があります。したがって、美観と性能を保つためには、お住まいになられているお施主様の日常のお手入れや住宅会社様・工務店様による定期的な点検が必要となります。

適切なメンテナンスがなされますと、サイディングのみならず建物自体の老朽化を遅らせ、資産価値の維持にもつながります。定期的な点検と早めのメンテナンスをお願いいたします。

2) お施主様ができる点検(日常点検)

日頃から建物の外壁を目視にて点検を行ってください。

メンテナンス工事は家を建築された住宅会社様・工務店様に相談してください。

高所作業を伴う点検やお手入れ、および塗り替えや補修工事は、お施主様ご自身では絶対に行わないでください。

点検ポイント

点検内容	点検項目	メンテナンス時期の目安
塗装表面の状態	褪色・藻・落ちなくなった汚れ・塗膜の亀裂・塗膜の剥離など	塗り替え 7~12年 ^(注)
シーリング部の状態	シーリング材自体の劣化によるひび割れ・剥離など	打ち替え等 適宜対処
サイディングの状態	サイディングの破損・地震などによって発生した亀裂など また、経年による反り・うねりなど	部分張り替え等 適宜対処

注：一般的なクリヤー塗装の場合

3) 一般的なメンテナンススケジュール

このメンテナンススケジュールはあくまでも目安としてご活用ください。

実施項目	5年	10年	15年	20年	25年	30年
点検	初期点検	地震、台風後他、年に1回程度実施				
サイディング		再塗装		再々塗装		再々塗装
					状況に応じて張り替え	
シーリング	状況に応じて部分打ち替え・全面打ち替え					

III. リフォームについて

外壁のリフォームは再塗装が一般的でしたが、近年、既存住宅の価値を高めるリフォームとして、窯業系サイディングを用いて張り替えをするリフォーム工事も増えています。詳しくは会員各社のホームページを参照ください。



一般社団法人

日本窯業外装材協会

ウェブサイト www.nyg.gr.jp

〒104-0032

東京都中央区八丁堀2丁目19番6号 ヤサカ八丁堀ビル2F

TEL: 03-6280-3122 FAX: 03-6280-3123

2020年5月発行

不許複製

2022年7月改訂